

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月13日更新

事務事業名	JR光の森駅駐輪場維持管理支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	政策部	課長名 中村 誓丞
体系	施策	4	公共交通の充実		所属課	企画課	担当者名 坂井 竹志
	基本事業	11	公共交通の利便性の向上		所属班	政策企画班	(内線) 1252
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11467	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑦ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	平成20年2月に菊陽町が整備したJR光の森駅駐輪場の維持管理経費について、駐輪場利用者の約半数が合志市民という実態を踏まえ、JRの利用利便性の確保と駅周辺における不法駐輪対策に協力するとの立場から、菊陽町へ維持管理経費の一部を負担金として支出する事業である。経費の負担割合は、協定により維持管理経費総額の1/4となる。 ・合志市民の駐輪場利用者数は、駅の立地条件等を勘案すると、今後維持又は微増すると考えられる。 ・菊陽町「光の森」の人口増により、JR光の森駅駐輪場の利用率は菊陽町が増え、合志市は減ってくると考えられる。 ※収容可能台数(設計上)・・・第1・2駐輪場=238台、第3駐輪場=181台、合計419台
【業務の流れ】	菊陽町との維持管理費に係る一部負担を行うための協定書締結事務(初年度)、協定に基づく負担金支払い事務。
【主な予算費目】	負担金 ①用地借地料335㎡×250円×12ヶ月=1,005,000円 ②維持管理業務(朝の駐輪指導2名分 6:30~8:00) 60,000円×12ヶ月=720,000円 ③電気料(外灯) 1,650円×12ヶ月=19,800円 ④経費負担総額①+②+③1,744,800円×1/4=436,000円
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
協定書締結事務協定に基づく負担金支払い事務	協定に基づく負担金支払い事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 協議回数	回 平成22年度実績見込みを踏まえた菊陽町からの要求額の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
JR光の森駅駐輪場利用者	→ ア 本市の利用者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
安心して利用できる	→ ア 安心して利用できないという苦情の件数 件
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 市民が駐輪場を安心して利用できることを目的としており、苦情の有無をその指標とした。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	回	0	2	1	1	1	1	1
② 対象指標	ア	人	0	200	200	130	140	150	160
③ 成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円		435	441	436	437	437
		(A) 事業費計	千円	0	435	441	436	437	437
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	441	436	437	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	0	2	1	2	2	2
	延べ業務時間	時間	0	12	4	11	11	11	
	(B) 人件費計	千円	0	47	15	45	45	45	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	482	456	481	482	482	

総トータルコスト  
全体計画  
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	JR光の森駅駐輪場維持管理支援事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)   
 \*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 菊陽町による管理が徹底すれば、今後苦情はないものと思われる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 菊陽町との協定により経費を負担する事業であるため。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 菊陽町との協定により経費を負担する事業であるため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 菊陽町の年間経費に左右されるが、現状では協定による費用負担割合(1/4)によって負担しているため削減余地がない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務手続きのみの事業であるため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 当該駐輪場は、JR光の森駅の利用者は誰でも利用できるものであり、公益性が高い施設である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 施設の所在は菊陽町になり、菊陽町の設置条例による公の施設であり、利用者は無料となっている。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成22年度については、予定どおり菊陽町の請求により負担金(維持管理経費総額1/4)を支出した。コミュニティバス運行状況を見ると、光の森方面への利用者が大半を占めている。ゆめタウン利用者が多いと思われるが、九州新幹線開業後は熊本駅へのアクセスポイントとして、市民の利用が増えることも考えられるため、本市におけるJR光の森駅の公共交通結節点としての位置づけや、市民の利用頻度・利用意向などを経年的に検証していく必要があると考えられる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																						